

サウジアラビア視聴覚メディア一般委員会、サウジアラビア総合投資院が 東京都内で「サウジアラビアゲーム・VR・メディアサミット」を開催

2017年5月31日 株式会社メディアクリエイト

視聴覚メディア一般委員会（GCAM）およびサウジアラビア総合投資院（SAGIA）は、メディアクリエイト（本社：東京都千代田区、代表取締役：細川 敦）と共同で5月16日（火）・17日（水）・18日（木）の三日間に「サウジアラビアゲーム・VR・メディアサミット」を開催した。

昨年4月に「サウジビジョン2030」が策定され、「サウジアラビア国内における文化・娯楽活動への支出を、総家計支出の2.9%から6%に引き上げる」ことが国家目標の一つに掲げられたことで、サウジアラビアの政府は現地娯楽市場に関心を持つ企業に対し、これまでにないほど強い関心を持っている。

GCAMはサウジアラビアにおけるゲームのレーティングを昨年8月より開始するとともに、サウジアラビアのメディア関連の規制について責任を持つ政府機関である。また、SAGIAはサウジアラビアへの投資を認可する唯一の政府機関である。今回は初来日となるGCAMのバンダール長官をはじめ、GCAMのファハド開発投資部長、SAGIAのハッサンICT・教育・トレーニング部門長の計3名が来日した。

メディアクリエイトはこれら三名のサウジアラビアの政府高官の来日が、日本企業にとって大きなビジネスチャンスとサウジアラビアの市場発展につながると認識し、日本を代表するゲーム・VR・メディア企業とのミーティングの場を準備した。なお、今回のイベントでは日本貿易振興機構（JETRO）はメディア企業の参加を募った。

当イベントには日本の大手家庭用ゲームパブリッシャー約10社、大手モバイルゲームパブリッシャー約10社のほか、アニメや映画に関連する企業が参加した。また、これらの企業を含めて30社近くの企業のCEOや執行役員などが、GCAMのバンダール長官を始めとする政府高官3名と個別に会談し、サウジアラビア市場への投資や進出について、活発な意見交換がなされた。その後、彼ら政府高官は総務省・経済産業省を訪問し、担当者とのミーティングを行った。

サウジアラビア視聴覚メディア一般委員会（GCAM）

<http://www.gcam.gov.sa/ar/Pages/default.aspx>

サウジアラビア総合投資院（SAGIA）

<https://www.sagia.gov.sa/en/Pages/default.aspx>

共同開催 株式会社メディアクリエイト

<http://www.m-create.com/>

info@m-create.com